



「始動！楯築遺跡バスツアー計画！ ～楯築遺跡の観光地化への歩み～ 私たちにできる取り組みとは」

学生グループの活動で楯築ルネッサンスの活動の一部の歴史愛好家の皆様が企画されているバスツアーの企画への参加

があります。

両備HDにお邪魔して、学生グループのメンバーで楯築ルネッサンス全体の活動、現在計画中のバスツアーとSDGsに関して両備HD経営戦略本部の副本部長清水様と検討しました。



このツアーがSDGsにつながる理由

(学生グループ作成資料より)

1. 地域の固有の歴史・文化・資源の活用

吉備路エリアには古墳が点在

➡これらは日本の歴史と文化を象徴している

古墳を巡るツアーは、地域の遺産を守り、伝える役割を果たす。

3. 持続可能な観光

吉備路古墳エリアのツアー

➡地域経済を活性化させ、地域住民と観光客の共生を促進する

「地域社会との連携」に寄与

2. ウェルビーイングの向上

古墳エリアの散策

➡心身の健康を促進し 社会的交流を提供する

高齢者にとって、自然や歴史的な場所を訪れることはウェルビーイングにつながる

4. 体験型のツアー

吉備路エリアの古墳

➡「のぼれる」「入れる」といった体験ができることが特徴

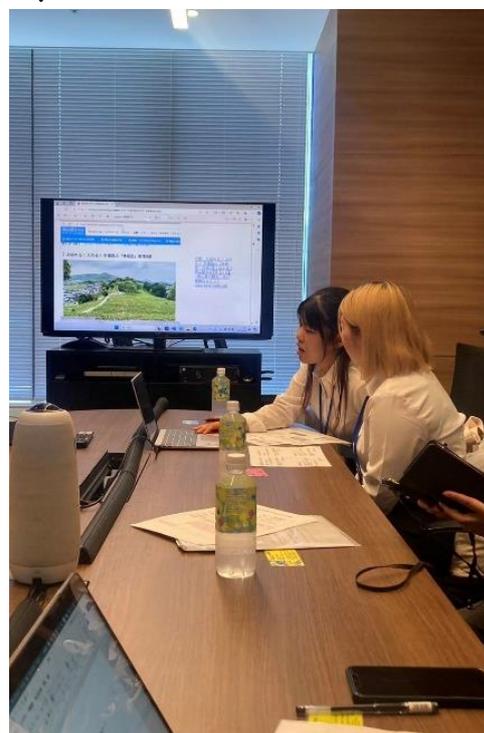
「体験型観光」に貢献し、地域の魅力を伝える上で重要!

楯築ルネッサンスの活動全体の目標としては、SDGsの目標11-4(世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保つていくための努力を強化する)が該当するのではないかと考えています。



生活習慣病の危険因子として運動不足がありますが、「のぼれる」「入れる」といった体験ができる特徴を持った吉備路エリアの古墳は、生活習慣病予防やフレイル予防のために運動量を増やすきっかけとして吉備路の散策やこのバスツアーに参加する「生涯学習」を提案したいと思えます！

このような取り組みは、3-4「2030年までに、予防や治療をすすめ、感染症以外の病気で人々が早く命を失う割合を3分の1減らす。心の健康への対策や福祉もすすめる。」(感染症以外の病気とは糖尿病・高血圧・メタボ・慢性腎臓病など生活習慣病・フレイルの予防です)に貢献しようと考えています。



編集後記 (次回予告)

今回は、楯築ルネッサンス代表の槇野先生に吉備路と健康の関係についてもお聞きしてみたいと思っています。ご期待ください！

(編集長：中園響)

(作成協力：岡山大学 白石奈津栄)

岡山理科大学 井上晏菜、白石楓佳)

